

## 井上フィールド科学研究基金による研究活動助成 —第 17 回公募報告—

井上フィールド科学研究基金運用委員会

### 第 17 回公募報告

本誌 72 巻 3 号 (2010 年 5 月) にてご案内した標記公募 (2011 年度助成) に対し, 対象 A (フィールドワーク) に 2 件の応募がありました. 審査の結果, 下記のように, 対象 A として 2 件の研究活動に助成いたします.

#### 対象 A (フィールドワーク)

- \* **課題名:** スピッツベルゲン島における構造土の形態, 構造と形成環境に関する研究
  - \* **申請者:** 渡邊達也 (わたなべたつや) 筑波大学大学院生命環境科学研究科大学院生
  - \* **計画概要:** 構造土を対象に現在実施中の土層変形, 土壌水分, 積雪深等の観測データの回収と解析, 凍土コアの掘削と解析を行う. また滞在先・スバルバル大学の大学院生の巡検で調査内容を紹介する.
  - \* **助成額:** 20 万円
  - \* **審査意見:** 活動目的の具体性に欠ける点や, 基金の主旨との整合性にやや問題がある. データ取得を含め, ある程度の成果は期待できる. 一方, 滞在期間, 滞在費, 旅費の節減は多少可能と考えられる. また, 他の財源からの支出も考えるべきである. 以上から希望額の一部, 20 万円を助成する. 安全面での問題は少ないと思われるが, 現地では十分注意して行動されたい.
- 
- \* **課題名:** 気温と日射量を指標とする融雪強度モデルの開発と異なる気候への適用性評価—南米パタゴニア地域を例として—
  - \* **申請者:** 伊豫部勉 (いよべつとむ) 新潟大学災害復興科学センター特任助教
  - \* **計画概要:** パタゴニア北部で, パタゴニア生態系研究センターと共同で実施中の観測を継続し, 気象要素ならびに雪面融雪に寄与する熱収支要素の季節変化特性に関するデータを収集する. そのデータを用いて, 日本の温暖積雪地域で開発した融雪強度モデルの適用性評価を行う.
  - \* **助成額:** 27 万円
  - \* **審査意見:** 活動目的と対象地域についての意義付けや, 活動内容と基金の主旨との整合性にやや問題がある. 実行可能性とある程度の成果は期待できる. 以上から希望額の一部, 27 万円を助成する. 安全面での問題は少ないと思われるが, 現地では十分注意して行動されたい.